



学校は、今...

SCHOOL REPORT 16

読書活動の取り組み

子どもたちが本に親しめるように、朝の読書を行っている小中学校もたくさんあります。今回は、各学校をまわる巡回司書や読書集会についてお知らせします。

●学校教育課 ☎ 23局 3679



巡回司書とつくる読書空間(田原中部小学校)

田原中部小学校の図書室は2階にあります。天候に関係なくたくさんのお客さんが訪れます。巡回司書の橋本先生のアイデアで、部屋はいつも季節感にあふれています。今年6月、折り紙の大きなアジサイを窓に飾ったときには、「カタツムリを折りたい!」という声があり、子どもたちと一緒にカタツムリを折って飾りました。

今回、紹介したいのは「予約カード」です。貸出中の本や学級文庫にある本を読みたい時に使います。巡回司書が予約された本を探し、子どもに手渡すと笑顔になります。子どもたちが、予約した本を心待ちにしていたことがわかります。読みたい本の傾向も探ることができ、読書に親しむ活動の一助になっていることを実感しています。



▲図書室に飾られたアジサイとカタツムリ(上)
予約の本を取りに来た子どもたち(下)
◀予約カード(左)



▲巡回司書の小久保先生の読み聞かせ(上)
昨年の図書集会の様子(右)▶

あじさい読書月間と図書集会(中山小学校)

中山小学校では、年間3回の読書月間を設けて全校で読書活動に取り組んでいます。

今年6月、「あじさい読書月間」では、楽しく何度も図書室を利用できるようにと、来室ごとにくじを引き「あ」「じ」「さ」「い」の文字を集めると記念のカードがもらえるようにしたり、図書クイズを用意したりするなど、図書委員が工夫をこらしました。また、巡回司書の小久保先生やPTA、ボランティアの方による読み聞かせを行いました。子どもたちは「次はどんな本かな」「このお話は知っているよ」と毎回楽しみにしていて、夢中でお話を聞いていました。

昨年の図書集会では、先生が小さいころに読んだ本やお勧めの本を紹介しました。「私も読んでみたい」と言って図書室に本を借りに来た子どもが、「面白かったよ」と感想を言ってくれるなど、読書の幅が広がってきているようです。

